

誘発脳波の解析

2-1) 電位マップを表示する

誘発脳波の加算波形について、各部位の電位をマップに描画します。

マッピングすることによって、どの部位で振幅がどの程度変化したのかを視覚的に確かめることができます。

< 操作の流れ >

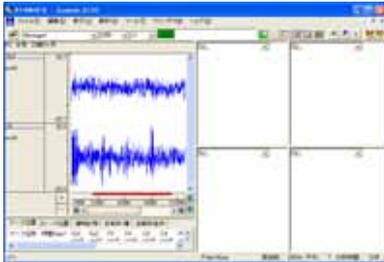
誘発脳波の加算波形を表示する。

解析画面にて、解析種類「電位マップ」または「電位マップトレース」を選択する。

解析結果を表示する。

1. 「電位マップ」を表示する場合
2. 「電位マップトレース」を表示する場合

誘発脳波の加算波形を表示する。



解析画面にて、解析種類「電位マップ」または「電位マップトレース」を選択する。



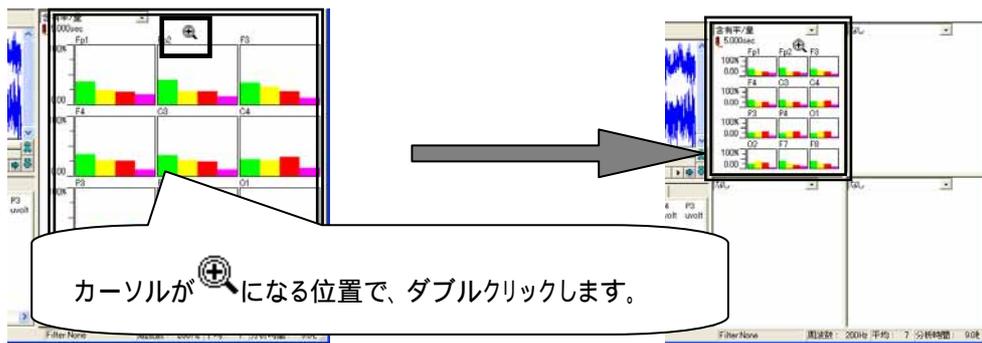
注: 解析画面の1つを拡大縮小したい場合

拡大する解析画面上にマウスを合わせダブルクリックすると、その解析画面が拡大します。



ATAMAPII を使用した解析手順

縮小する解析画面上にマウスを合わせダブルクリックすると、その解析画面が縮小します。

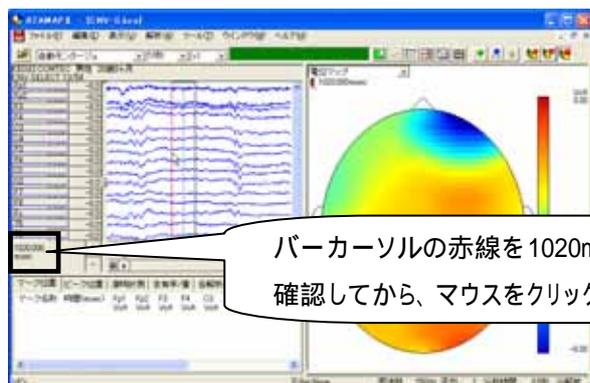


解析結果を表示する。

1. 「電位マップ」を表示する場合

波形上の任意位置でクリックします。

例：1020msec 後のデータ位置で解析結果を表示させる場合



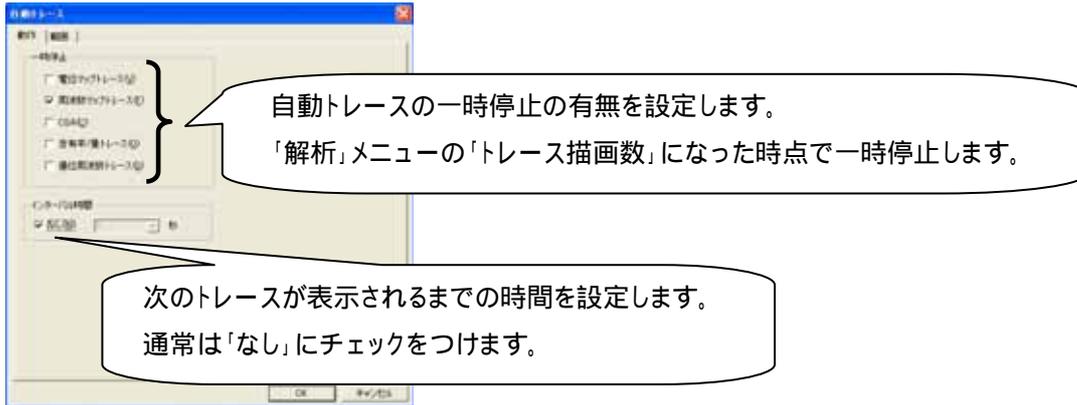
2. 「電位マップトレース」を表示する場合

「解析」メニューの「自動トレースの設定」を選択します。

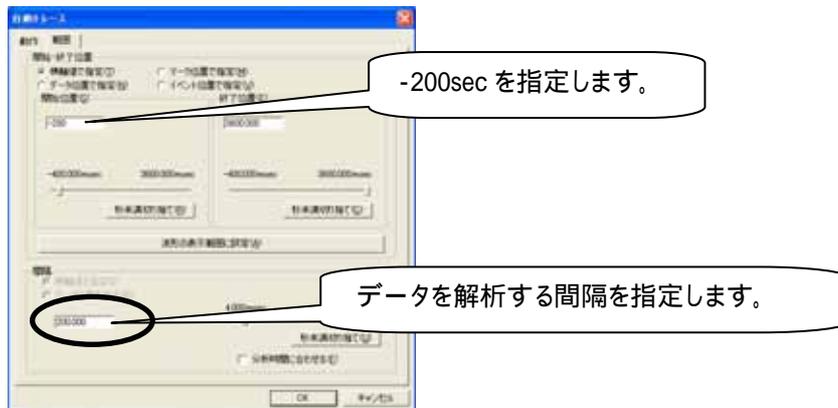
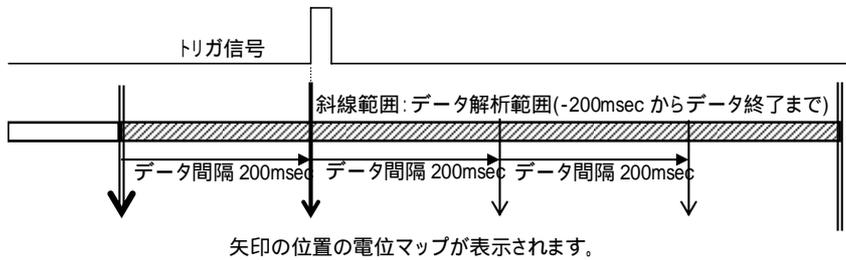


4-2-2 電位マップを表示する

「動作」タブでは、トレース描画の間隔を設定します。



「範囲」タブをクリックして、タブを前面に表示します。ここでは、トレースを行うデータ上の時間間隔を設定します。
例: トリガ信号より-200msec 後からデータ終了まで、200msec 刻みで電位マップトレースを行う場合

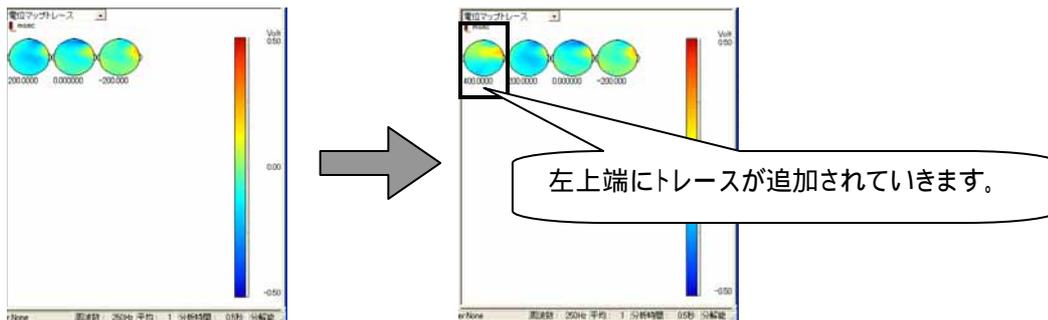


「解析」メニューの「自動トレースの開始」を選択するか、もしくはツールバーの「自動トレースの開始」ボタンを押します。

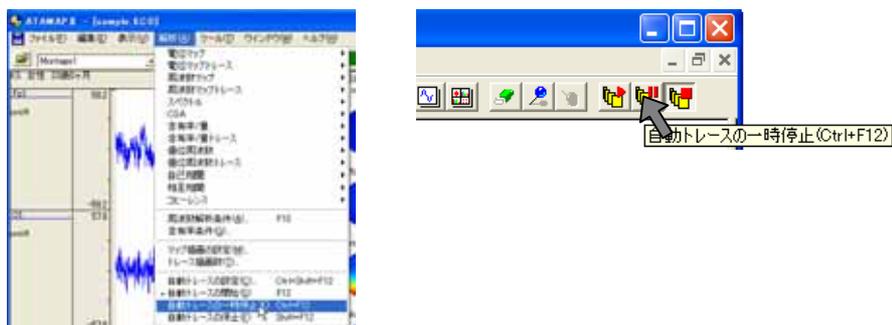


ATAMAPII を使用した解析手順

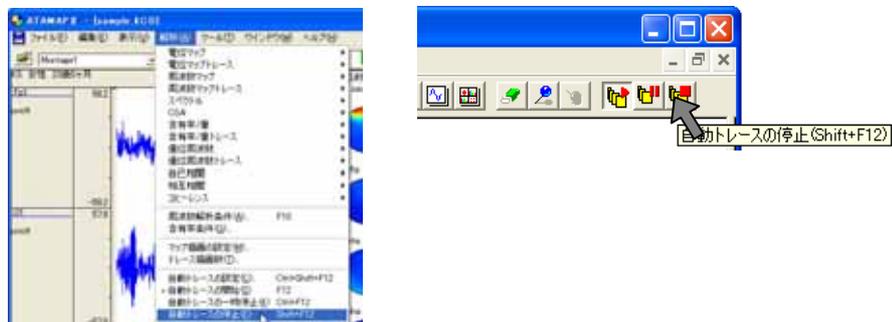
トレースが開始され、解析範囲終了まで自動的にトレースを続けます。



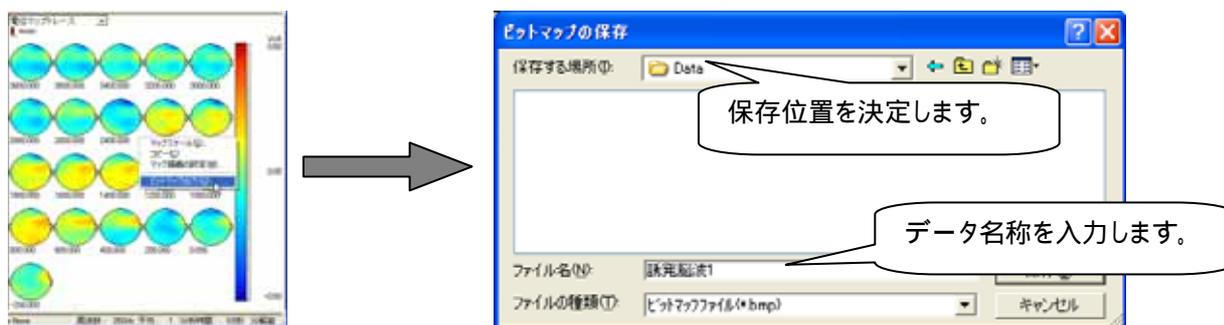
途中で一時停止する場合は、「解析」メニューの「自動トレースの一時停止」を選択するか、もしくはツールバーの「自動トレースの一時停止」ボタンを押します。



途中で終了する場合は、「解析」メニューの「自動トレースの終了」を選択するか、もしくはツールバーの「自動トレースの終了」ボタンを押します。



解析画面にマウスを合わせ右クリックし、「ビットマップ出力」を選択します。保存先を入力し、「OK」ボタンを押します。



4-2-4 電位マップを表示する